

地域おこし協力隊とは、総務省が平成21年度から取り組んでいる制度で、都市部の意欲ある人材が地方へ移住(最長3年)し、地域力の維持・強化を目的とした支援活動を行うものです。

笠間の農業を、
次世代に繋がる農業に！



たかやま けん
高山 健 隊員 28歳 千葉県柏市から移住



(一財) 笠間市農業公社での栗の選別作業

こんにちは。地域おこし協力隊の高山です。私は、「農業振興」をテーマに活動しています。今回は、私の着任後半年間の取り組みをご紹介します。

①「笠間の栗」をはじめとする農業の技術習得に向けた研修

まず、市内の農家を訪問し、各々の思いやこだわり、悩みなどを伺いました。さらに、「笠間の栗」の栽培などを行う笠間市農業公社や市内農家で、技術習得に向けた研修を行いました。今後も農業のプレイヤーを目指し、農業技術習得と市内農家との関係構築に努めます。

さらに、栗のブランディングに精力的に取り組んでいる「やま栗」の熊本県山江村を訪問し、厳しい栽培基準や品質基準、オーナー制度、販路拡大の取り組みなどを学びました。山江村で学んだことは、今後の私の「笠間の栗」の取り組みに活かしたいと思います。

②新規就農希望者のサポート

「移住コンシェルジュ」として活動する高橋隊員と、笠間市内で移住・就農を希望される方へのヒアリングや、農家の方を交えた相談会などを実施しています。栽培作物や作付面積などの具体的なイメージがないと就農の相談が難しく、その窓口が少ないと知り、この活動を開始しました。

③コミュニティ農園の企画・運営

農業未経験でも、仲間とともに気軽に

に参加し、その興味関心と学びを深める場として、「友部 commons 農園部」を設立しました。7月に、ダイズを播種し、早朝を中心に集まれるメンバーで農作業を行いました。10月に「枝豆収穫&火起こし体験の親子ワークショップ」を開催し、子どもたちが農業に触れ合う場を提供しました。今後もさまざまな企画を打ち出し、共に農業に取り組む仲間の輪を広げたいと思います。



新規就農希望者との相談会（高橋隊員(右端)と実施）



熊本県山江村の栗農家さんを訪問

これらの活動を通し、私自身が農業のプレイヤーとなり、笠間市内での農業に興味を持つ方と新規就農者を増やすお手伝いが出来ればと思います。私の活動を支えてくださる方々への感謝を忘れず、微力ながら恩返しができるよう、今後の活動に励みます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



枝豆を収穫



フェイスブックも
ご覧ください

問 企業誘致・移住推進課（内線592）